

# くらしと営業の支援を

7月の定例市議会での党議員団の質問の一部を紹介します。

## 代表質問

### 財政赤字をあおり

#### 「住みよい吹田」を壊すな

生活と営業で苦勞する市民に対し、地方自治体として吹田市が応援を

選挙がおわって吹田市が真っ先にすべきことは、地域経済の活性化、若者に仕事、高齢者・障害者にやさしい市政、安全で便利な街づくりです。大震災を受けて原発事故対策、津波対策など防災計画の見直しも緊急課題です。

#### 「財政非常事態宣言」は撤回を

井上市長は、「財政非常事態宣言」を理由に公務員の給与削減や、福祉や子育てに優れている吹田市の独自施策を一気に見直そうとしています。

しかし、市民の納税額は大阪府下でトップクラス。高い税金を納めている市民に対して、キチンとした説明をすべきです。市民に財政危機の責任はありません。

#### 倉沢さとし議員

#### 遅れている学校施設の耐震化を繰り上げよ

30年以内の発生確率が60%から87%とされる東海・東南海・南海地震対策が必要です。「原発事故や津波などの対策もふくめた防災計画の見直しを。学校施設の耐震化は全国平均73.3%、吹田市は50.6%で大きく遅れている。保育所は18.7%。耐震化計画の「前倒し」を要求しました。千里救命救急センター府補助金



耐震工事がすすむ山一小学校

復活。市民病院での小児夜間救急の復活など、地方自治体が住民の命を守る責任をはたすことを求めました。

#### 中学校完全給食の実施を

中学校給食実施率は全国81.6%。大阪府は12.3%で全国最下位です。吹田市の中学校給食は弁当持参か予約注文の選択制です（喫食率は21.4%）。大阪府が、給食補助制度を創設したので、この機会に全員喫食をすすめるよう求めました。また栄養教諭の配置と給食費を就学援助の対象にすべきと要求しました。

その他にも障害者共同作業所補助金の継続や子ども子育て新システムの考え方、小規模工事登録制度実施、東部拠点整備事業などについて質問しました。

#### 個人質問

#### 山根たけと議員

●貨物専用道路周辺の環境対策について。ドーム型遮音壁は住民の切なる願い。市長は責任をもって実施させよ。事後監視は罰則も含めて厳しく対応すること。



貨物専用道路と隣接する泉町の住宅

●高すぎる不妊治療費の助成制度の創設。  
(答弁：引き続き研究していく)

●老朽保育園の早期耐震化・建て替え・改修は急務。子ども達の命に責任をもて。  
(答弁：老朽化している施設については、特定財源の確保に努めながら、必要度・緊急度の高いものから、順次改修や修繕を行う)

●商店街の活性化具体策を示せ。

#### 個人質問

#### 上垣優子議員

●学童保育における障害のある子ども年限延長を。  
(答弁：検討する)

●旧北千里小学校関連事業は住民参加で進めて来た計画、それを住民になんの相談もなく一方的に中止を発表するようなやり方はあまりにも乱暴だ。今まで計画してきた事業の今後について、現段階で市はどう考えるのか。  
(答弁：18年にも及ぶこれまでの市民の思い、要望については前提として協議していく)

●千里山駅周辺整備で、地域のさらなるバリアフリー化とコミュニティ施設や市民サービスコーナーなど公共施設の充実を。跨線橋線の緩衝緑地帯の設置を求める。

#### 個人質問

#### 玉井みき子議員

●保育所の警備員配置の予算が今年度削られた。子どもの命と安全を守るため予算を元に戻すこと。



●放射能汚染の不安の声にこたえよ。市として放射能測定器(ガイガーカウンター)を購入し学校プールや運動場、公園砂場、幼稚園・保育園などについては測定すべき。  
(答弁：吹田では大阪大学が放射線量を定期的に測定し現在まで異常値はでていない。放射能測定器については防災計画の見直しにあたり、整備も視野に入れる)

議会改革特別委員会が設置され共産党議員団から竹村博之議員が、議会だより編さん委員会が広報委員会に変わり村口始議員が、それぞれ選任されました。



倉沢さとし議員



村口はじめ議員



竹村 博之議員



塩見みゆき議員



柿原 まき議員



玉井みき子議員



上垣 優子議員



山根たけと議員